

原爆の日 平和学習の継続を

アルバイト

(広島県 56)

広島市立の小中学校で、8月6日「原爆の日」の登校日が今年には実施できない見通しという。今年度から教職員に関する権限が市に移り、8月6日を休日とする市条例が教職員に適用されるためだ。

私は小学4年の夏から広島に移り住んだ。当時から8月6日は学校で平和学習があり、県外出身で原爆や戦争を知らなかった私はとても考えさせられたことを覚えてい

育現場を通して世界へ発信する上で大変重要なのである。

「共謀罪」法が成立し、改憲への動きも進む日本の現状に、いつか来た道に戻っているような恐怖を感じる。広島・長崎の被爆地としての非戦と平和に対する役割は大きくなっていると思う。条例の規定という理由だけで安易に平和教育の形を変えるべきではない。

登校日の継続を求める声もあり、市は再検討を進める考えを示したという。命の尊さと人間の尊厳を理解し行動することこそ市民の真摯な願いである。どうか思いを汲んでほしい。